

平成28年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会（歴史的分野）（1/1枚目）  
 社会(歴史)部会 部長(石塚 克美)

調査の観点	発行者名	東京書籍	教育出版	清水書院	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社	学び舎
1 内容 (1)発達段階に即している (2)興味・関心を引き出す配慮 (3)本市の学力の実態へ配慮		(1)・巻頭に歴史を学ぶ必要性が示され、各章の冒頭の「やってみよう」で小学校での既得知識が確認できる。 (2)・教科書巻頭や巻末に遺跡や文化財など様々な写真をとりあげている。 ・各章の導入部分にイラスト・資料を多用し、各時代の概要をつかみやすくなるなど、興味・関心を引き出す配慮が見られる。 (3)・幅広い学力層への対応が見られる。	(1)・巻頭の小学校の学習の振り返りが工夫され、小学校の学習との連続性が強く意識される。 (2)・写真や図版が豊富である。特に教科書の冒頭で地球の歴史をカレンダーで例えたり、各単元の表題を工夫したりするなど興味・関心を引き出す配慮が見られる。 (3)・幅広い学力層への対応が見られるが、本文の記述が全体的に簡潔である。	(1)・巻頭の小学校の学習の振り返りは少なめである。 ・単元末の「まとめてみよう」の設問が、中学1年生の段階では、やや高度である。 (2)・「もっと知りたい歴史」というコラムで資料を使って各時代への興味・関心を引き出す配慮が見られる。 (3)・幅広い学力層への対応が見られるが、本文の記述が全体的に簡潔である。	(1)・巻頭に歴史を学ぶ必要性や教科書の使い方の説明が示され、小学校の学習の振り返りがされている。 (2)・「タイムトラベル」のページでは、イラストを読み込むことで歴史を学ぶ興味・関心を引き出す配慮が見られる。 ・各単元末の「確認しよう」と「説明しよう」が2ステップになっていて、取り組みやすい。 (3)・幅広い学力層への対応が見られる。	(1)・巻頭に歴史を学ぶ必要性や教科書の使い方の説明が示され、小学校の学習の振り返りがされている。 (2)・写真や図版が豊富である。 ・各編の導入部が見開き2ページの資料と、世界地図を使った世界の動きのまとめとになっていて、さらに各編に図版特集のページがあり興味・関心を引き出す配慮が見られる。 (3)・幅広い学力層への対応が見られる。	(1)・巻頭に歴史を学ぶ必要性が示され、序章で歴史の捉え方を示している。 (2)・見開き2ページの「もっと知りたい」など読み物コラムが数多くあり、興味・関心を引き出す配慮が見られる。 (3)・幅広い学力層への対応が見られるが、序章で示される調べ学習の例や、表現に比較的细节なものがある。	(1)・巻頭に歴史を学ぶ必要性や教科書の使い方の説明が示され、「歴史人物Q&A」で小学校で学んだ人物を取り上げている。 (2)・写真や図版が豊富である。特に各章はじめのスケールや絵画資料など5ページにわたる導入部に、興味・関心を引き出す配慮が見られる。 (3)・幅広い学力層への対応が見られるが、欄外の脚注に、比較的细节なものがある。	(1)・巻頭に教科書の使い方が示され、小学校の学習の振り返りがされている。 (2)・写真や図版が大きく、目新しい資料が多く使われている。 ・「歴史を体験する」ではさまざまな体験活動が示されている。 ・各単元の表題が工夫されており、興味・関心を引き出す配慮が見られる。 (3)・幅広い学力層への対応が見られるが、比較的细节な歴史的事項が含まれている。
2 構成及び分量 (1)内容の組織配列、発展的記述 (2)発達段階に配慮した分量 (3)基本事項の押さえと補充教材 (4)発展教材への配慮		(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で281ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 ・見開き2ページの内容について、学習した内容のポイントを説明する課題設定がある。 (4)・「深めよう」というページや、「歴史にアクセス」というコラムで、発展的な学習ができる。	(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で274ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 ・見開き2ページの内容について、「ふりかえり」で学習内容のポイントを想起させ、確認する・説明する・話し合う等、2ステップの活動を通してまとめさせる課題設定がある。 (4)・「〇〇から歴史を探ろう」という特設ページや「歴史の窓」というコラムで、発展的な学習ができる。	(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で275ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 ・見開き2ページの内容について、「まとめてみよう」で学習内容のポイントをまとめたり、深めたりするなどの課題設定がある。 (4)・本文のページにあるコラムや、「もっと知りたい歴史」のページで、発展的な学習ができる。	(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で263ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 ・見開き2ページの内容について、「確認しよう」で基本事項の確認をし、「説明しよう」で説明することにより学習の振り返りをする2ステップの課題設定がある。 (4)・「歴史を探ろう」「リアル歴史」のページで、発展的な学習ができる。	(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で287ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 ・見開き2ページの内容について、「確認」で学習の理解を確かにし、「活用」で自分の考えを説明するなどの課題設定がある。 (4)・「もっと知りたい」「外の目から見た日本」などのページで、発展的な学習ができる。	(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で279ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 ・見開き2ページの内容について、「まとめてチャレンジ」で学習内容をまとめたり、説明したりする課題設定がある。 (4)・「このころ世界は」というページが、各章にあり、世界史の内容を補足し、発展的な学習ができる。	(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で281ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 ・見開き2ページの内容について、学習内容をまとめたり、説明したりする課題設定がある。 (4)・「このころ世界は」というページが、各章にあり、世界史の内容を補足し、発展的な学習ができる。	(1)・内容の配列は組織的で、適切である。 (2)・全体で312ページ(巻末索引等を除く) (3)・基本事項については、押さえられている。 (4)・本文見開き2ページの最後に、コラムがあり、発展的な学習ができる。
3 表記及び表現 (1)生徒にとって読みやすい表現 (2)印刷、写真等の見やすさ		(1)・文体は敬体で音読しやすい。 ・重要語句はゴシック体で表記され、用語解説が欄外や巻末に掲載されている。 (2)・写真や地図、グラフ等がバランスよく配置されている。 ・色遣いが良いので紙面が明るく見やすい。 ・本文と資料との対応を「図番号」で示して分かりやすい。	(1)・文体は敬体で音読しやすい。 ・重要語句はゴシック体で表記され、用語解説が欄外に掲載されている。 (2)・本文と資料(写真や地図、グラフ等)との対応を「図番号」で示して分かりやすい。 (2)・B版のため、写真や地図、グラフなどの資料が精選されている。 ・印刷がやや薄い箇所が見られる。	(1)・文体は敬体で音読しやすい。 ・重要語句はゴシック体で表記されているが、語句の選択には個性的なものもある。 ・用語解説が欄外に掲載されているページもある。 (2)・B版のため、写真や地図、グラフなどの資料が精選されている。 ・印刷がやや薄い箇所が見られる。	(1)・文体は敬体で音読しやすい。 ・重要語句はゴシック体で表記され、用語解説が欄外に掲載されている。 (2)・本文と資料(写真や地図、グラフ等)との対応を「図番号」で示して分かりやすい。	(1)・文体は敬体で音読しやすい。 ・重要語句はゴシック体で表記され、用語解説が欄外に掲載されている。 (2)・本文と資料(写真や地図、グラフ等)との対応を「図番号」で示して分かりやすい。	(1)・文体は敬体である。 ・重要語句はゴシック体で表記され、用語解説が欄外に掲載されている。 ・中学生にはやや難しい表現が見られる。 (2)・色遣いの関係から全体的に発色がやや暗めである。 ・写真の中にやや不鮮明なものも見られる。	(1)・文体は敬体で音読しやすい。 ・重要語句はゴシック体で表記され、用語解説が欄外に掲載されている。 ・かなり詳しい地名などの記述があり、中学生にはやや難しい。 ・重要語句にゴシック体の表記はない。 (2)・ページに占める写真や資料が全体的に大きい。	(1)・文体は敬体で音読しやすい。 ・重要語句はゴシック体で表記され、用語解説が欄外に掲載されている。 ・かなり詳しい地名などの記述があり、中学生にはやや難しい。 ・重要語句にゴシック体の表記はない。 (2)・ページに占める写真や資料が全体的に大きい。
4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見渡せるよう配慮 (2)課題発見、解決に向けた学習が効果的に進められる配慮 (3)印刷、装丁への配慮 (4)地域性への配慮		(1)・目次見開き2ページ、教科書の使い方、マークの説明1ページある。 (2)・章末ごとにある「この時代の特色をとらえよう」は課題発見、解決に向けた学習に利用できる。 ・巻末に用語解説が付いている。 (3)・AB版、装丁もすっきりしている。 (4)・あきる野市五日市憲法の条文の一部と解説が欄外に掲載されている。	(1)・目次見開き2ページ、教科書の使い方、マーク、表記の説明などが1ページある。 (2)・「ふりかえり」が課題発見、解決に向けた学習に利用できる。 ・章ごとに「歴史の窓」見開き2ページがあり、資料の読み取り方、人物調べ、身近な地域調べの方法などが紹介されている。 (3)・AB版、装丁もすっきりしている。 (4)・民間で作られた憲法案の例として、あきる野市五日市憲法の一部が欄外で紹介されている。	(1)・目次3ページ、その中にマークの説明などがある。 (2)・「まとめてみよう」が課題発見、解決に向けた学習に利用できる。 ・章ごとに「歴史のとらえかた」見開き2ページがあり、資料の読み取り方、人物調べ、身近な地域調べの方法などが紹介されている。 ・巻末に「歴史の舞台」を紹介する地図と写真がある。 (3)・AB版、装丁もすっきりしている。 (4)・「歴史を探ろう」地域史の中で、横浜港とのかかわりで八王子の絹の道が写真とともに紹介されている。 ・多摩地方の自由民権運動として、あきる野市五日市憲法の一部の条文、八王子車人形の写真がコラムとともに1/3ページほどで紹介されている。	(1)・目次見開き2ページ、教科書の学習の仕方、使用上の注意、マークの説明がある。 (2)・第1編「歴史のとらえかた」3ページ分が目次とつながっており、小学校の学習を振り返りながら全体の構成が見渡せるように作られている。 (2)・P.91に調べ学習をする際のポイントが明記されている。 (3)・AB版、装丁もすっきりしている。ページの横に時代や世紀が記されており、見やすい。 (4)・あきる野市五日市憲法草案の一部と町田市の学校(養英館)が1/4ページほどで紹介されている。 ・明治の近代文化の中で、西東京市の小学校の集合写真が紹介されている。	(1)・目次と教科書の使い方、マークの見方3ページある。 (2)・各章末のまとめの中に、「ひとこと作文」で一番印象深かったことをまとめ、「意見交換会」で他者の意見を聞くことができる。 (3)・B5版、装丁もすっきりしている。 (4)・欄外のコラム「江戸の会談と民権派の憲法草案」にあきる野市五日市憲法草案の条文の一部とともに紹介されている。	(1)・目次3ページ、教科書の使い方1ページある。 (2)・各章の最初に学習課題が設定されている。 ・各章の初めの「虫の目で見る〇〇」で課題発見に配慮された資料がある。 (3)・AB版、装丁もすっきりしている。 (4)・江戸時代の新聞開巻に關し、玉川上水が欄外の関連情報で紹介されている。 ・「歴史ビュー」というコラムであきる野市五日市憲法について条文の一部とともに紹介している。 ・府中市や町田市での自由民権運動の演説会について紹介している。 ・五日市憲法については、八王子や絹の道を含む地図とともに、写真入りでページを使い紹介している。 ・田無尋常小学校を写真とともに紹介している。 ・大正時代のコラムで全生園を紹介している。	(1)・目次見開き2ページある。 (2)・各章の最初に学習課題が設定されている。 (3)・A4版、装丁もすっきりしている。 (4)・「地域の歴史を歩く」で2ページにわたって東京都小平市を扱い、玉川上水、鈴木分水を紹介するとともに、羽村市郷土博物館を例に博物館での調べ方を紹介している。 ・明治時代に現在の府中市に作られた学校を1/3ページほどで紹介している。 ・府中市や町田市での自由民権運動の演説会について紹介している。 ・五日市憲法については、八王子や絹の道を含む地図とともに、写真入りでページを使い紹介している。 ・田無尋常小学校を写真とともに紹介している。 ・大正時代のコラムで全生園を紹介している。	
5 重点調査項目 (1)歴史的視点を培う姿勢、特に多面的・多角的な視点		・「この時代の特色をとらえよう」では、「歴史新聞」や「比較表」「プレゼンテーション」などを活用した学習を通して、多面的・多角的な視点を培う工夫が見られる。	・「歴史の窓」では、「女性」や「アイヌの人々」「外国人」など社会的弱者についての学習を通して、多面的・多角的な視点を培う工夫が見られる。 ・単元ごとに、設定されている「学習課題」や「読み解こう」で思考力を付けさせる工夫が見られる。	・「地図で見る世界史」では、その時代の世界の様子を世界地図とともに取り上げ多面的・多角的な視点を培う工夫が見られる。	・「技能をみがく」では、考え方の違う3人の人物の意見を紹介している。 ・未来の社会をつくるために必要な知識を紹介したコラムでは、「自然環境」「人権」「交流」「平和」といった4つのテーマがあり、この学習を通して、多面的・多角的な視点を培う工夫が見られる。	・「時代の転換」や世界史的な視点により、多面的・多角的な視点を培う工夫が見られる。 ・地図や年表をバランスよく配置し、日本史と世界史とを結び付けて学習する工夫も見られる。	・「外の目から見た日本」などのコラムでは、日本の優秀さを多面的・多角的に表現しようとする工夫が見られる。 ・日本の古代史と太平洋戦争前後等の記述で、表現に特徴が見られる。	・「歴史ズームイン」での様々な歴史のエピソードに特徴が見られる。 ・「このころ世界は」で世界とのつながりを示している。 ・多面的・多角的な視点を培う工夫が見られる。	・各章の最初に、その時代の世界の様子を世界地図とともに取り上げ多面的・多角的な視点を培う工夫が見られる。
(2)大観する授業への配慮・視点		・巻頭の「歴史の流れ」では、イラストを用いて生徒に興味をもたせる工夫をしている。 ・章の導入部の年表や章末の「この時代の歴史の学習を確認しよう」で時代全体を見通して大観し、時代の特色を大きく捉えることを目的とした学習活動を配置している。 ・巻末の年表は縦書き5ページである。	・巻頭の「歴史の移り変わりを考えよう」では、イラストを用いて生徒に興味をもたせる工夫をしている。 ・章末の「学習のまとめと表現」では、習得した知識を活用してその時代を大観し、時代世界の両面で大きく捉えることを目的とした学習活動を配置している。 ・巻末の年表は、写真やイラストも掲載するなど縦書き8ページである。	・巻頭の「時代ごとの特色と時代の流れを考えよう」や章末の「〇〇の日本と世界をまとめてみよう」では、習得した知識を活用してその時代を大観し、時代世界の両面で大きく捉えることを目的とした学習活動を配置している。 ・巻末の年表は、写真やイラストも掲載するなど縦書き6ページである。	・巻頭の「歴史をたどろう」では、イラストを用いて生徒に興味をもたせる工夫をしている。 ・各時代の「まとめ」では、習得した知識を活用してその時代を大観し、時代世界の両面で大きく捉えることを目的とした学習活動を配置している。 ・巻末の年表は、写真やイラストも掲載するなど縦書き6ページである。	・巻頭の「歴史のとらえ方」では、イラストを用いて生徒に興味をもたせる工夫をしている。 ・各時代の「まとめ」では、習得した知識を活用してその時代を大観し、時代世界の両面で大きく捉えることを目的とした学習活動を配置している。 ・巻末の年表は縦書き8ページである。	・巻頭の「日本歴史の舞台」では、万・千・百それぞれの単位で日本の歴史を見た場合の表現を示している。章末のまとめを活用して、大観させる授業を試みている。また、全体の終末に歴史を学び終えて「日本の歴史の特色は何か」として6つの課題が設定されていて、大観する工夫が見られる。 ・巻末の年表は横書きで5ページである。	・巻頭の「日本の美の形」で主要美術品の写真を通して生徒に興味をもたせる工夫をしている。 ・各章の冒頭に「歴史絵巻」、章末に「学習のまとめ」で世界との対比で大観させる工夫が見られる。 ・巻末の「歴史学習のまとめ」では、3つの課題を提示し、学習した内容を活用して、その時代の歴史や日本の歴史を大観できるようにしている。 ・巻末の年表は縦書き5ページである。	・巻頭の「歴史を楽しく学ぼう」で人物などを通して小学校の学習を振り返りながら大観するとともに、各時代の冒頭で時代を大観する学習課題を提示し、まとめでは、時代の特色と時代の転換を振り返りながら大観できるようにしている。 ・巻末の年表は縦書き20ページあり、年表は写真も掲載するなど工夫が見られる。